

## 廃校施設利用はようになる

町長…旧横山小学校は児童センター・放課後児童クラブに  
旧駒籠小学校は地域密着型特別養護老人ホームに



村岡 藤弥 議員



あたたかい町づくり

減額という行動を起こしても、お金に色が付いているわけがなく、具体的な成果の評価ができない場合が多い。新たな事業の展開が庄司町政のカラーである。目玉となる事業の考えはないか。

町長 例え、中学校3年生までの医療費の無料化や、プレミアム商品券発行への助成等の一部に充当できれば、約の10%が平成24年度より実施・継続できることとなります。

掲げた選挙公約には時間を要するものと新年度からでも実現可能なものがある。報酬及びボーナス50%カットは、即実現可能であるが。

選挙公約をどう実現する。町長 町民のより多くの声をより多くの場所で行くことが、「皆で創るまちづくり」であると思う。各地区で「町づくり座談会」の実施に向けて、具体的方法を検討していきます。

町長 婚活事業などさまざまな若者自身が企画立案した事業への協力・支援をしていきます。

廃校施設利用はどう進める。町長 公募の結果を基に、「廃校利用検討委員会」の決定事項として、旧横山小学校は、社会福祉法人ふたば保育園の児童センター・放課後児童クラブとして土地は無償貸し付け、校舎・屋内運動場は無償譲渡。旧駒籠小学校は、社会福祉法人たいよう福祉会の地域密着型特別養護老人ホームに。土地は無償貸し付けし、校舎・屋内運動場は無償譲渡。旧鷹巣小学校校舎は民具展示施設や物品等

旧横山小学校にもう一件他の医療法人から応募があったが。町長 施設全てを町で解体し、更地にして無償で借りたいとの内容。法人としての機関決定のない申し込みで、正式な申し込みを得られず除外となりました。

興味を持つ法人に、トップセールスマンとして新たな条件も含め交渉すべきと思うが。町長 繋がりを持ちながら話をしていきます。



にぎわう物産市（そばまつり）



関 幸悦 議員

今回の選挙で町長は、今後の行政運営を進めていくうえで町再生計画を町民に示している。再生計画では、トップセールスマンとして、町をPRし、経済の活性化をはかるとしている。今後4年間行政を担っていくうえで、町長の取り組み姿勢とどんなところを重点に取り組んでいく考えか。町長 大石田町を活性化させるために公約を町民の皆さんに示し、ご支持をいただきました。トップセールスマンとして積極的に町をPRし、町外からの交流人口の増加をはかります。2つ目として若者のイベントを企画し、関係機関と連携し婚活事業を開催していきます。最優先に考えてい

る事は、6次産業を立ちあげ雇用を創出することです。毎年人口が減少し、税収も減収している現状を考え早急に取り組んでいきます。今後どうなる福祉バス 福祉バスは、今年の10月から試行的に毎週月曜日と月の15日に運行をしています。前町長は来年度以降も継続していく考えでした。来年度も継続していく考えか。又、見直しも含めてどのように考えているのか。町長 町の高齢化率は30%をこえています。こうした中、高齢者などの交通弱者の交通確保のため本年10月から試行的に実施しています。11



改善が望まれる福祉バス

月末まで亀井田方面が午前31人、午後22人で合計53人、横山・大石田方面は午前22人・午後19人で合計41人の利用者となっています。利用者からは、「長く続けてほしい」「停留所を増やして欲しい」「このまま

で良い」などの意見が寄せられています。交通弱者をいかに救済していくかが重要課題と認識しています。新年度において見直しも含め運行する考えです。

## 大石田再生計画を示せ 町長…定住対策を積極的に進めていく